

留学報告書  
～何事も自分次第～

アラスカ大学フェアバンクス校  
国際文化学部生（中期）

2023年8月から12月までの約4か月間、アメリカのアラスカ州にあるアラスカ大学フェアバンクス校に留学しました。留学の目的は、語学力の向上だけでなく、日本とは違った考え方や文化を自分自身の肌で感じ、学ぶためでした。留学生活は私にとってなにもかも初めての充実した4か月間になりました。アラスカ州はアメリカの最北端に位置し、カナダの隣にあります。その中央にフェアバンクスがあり、とても寒く自然豊かな場所です。私は寒がりです。冬が苦手だったので、この留学先になった時に頭を抱えたことを覚えています。そんな私のアラスカでの経験、忘れられないもの、得たものなどを綴っていきます。

初めてひとりで飛行機に乗って出発したときやシアトルでの入国審査はドキドキで心臓が出そうでした。パスポートの写真と髪色が違い、審査時に「似合っているね」と声をかけられたことで緊張が和らぎました。分からないところもありながらもなんとか入国審査を通過し、その飛行機に乗ってアラスカに向かいました。

アラスカではWilderness welcomeという学校のオリエンテーションプログラムに参加しました。想像していたものよりもハードでしたがアラスカの広大な自然に触れ、普段使用する物のすばらしさを知りました。キャンプ中では、スマートフォンをほぼ使用せずに自然を堪能し、デジタルデトックスが出来ました。山を歩いている時に勇気を出して話しかけたことで、初めてアメリカで友達が出来ました。分からないところはゆっくり話してくれたり、自然の知識をたくさん教えてくれたりしました。うまく会話が出来なくてとても申し訳ない気持ちになって落ち込みましたが、帰りの車の中でお菓子を分けてもらったり、ゲームに参加させてもらったりしてとても嬉しかったのを覚えています。

私は、ESL (English as a Second Language) のクラスを4つとフィットネスのクラスを受講しました。ESLのクラスでは、異なる国から来た人が1人、残りはすべて日本人でした。予想以上に日本人ばかりのクラスだったため、最初はこの環境で英語が上達するのか不安でした。しかし、友達の友達が自分の友達になれたり、気分が落ちこんだ時に助け合えたりしたことで、日本人が側にいてくれたおかげで助けられたことも多くありました。

また、日本の大学との違いは、毎週の課題や授業の取り組む姿勢です。特に、最初の1カ月はリーディングのクラスの課題に苦しみました。知らない単語がたくさんある長文を読み、それについて自分の意見を書いたり、共有したりしました。時間が足りず、クラスがはじまる前の早朝や深夜に図書館で課題を進めていましたが、時間が経つにつれ、少しずつ課題を進めるスピードが上がったと実感しました。授業の取り組みは、正解よりも自分の意見をもち共有することが重要視され、わからないところがあればすぐに質問することが新鮮でした。初めは恥ずかしくて質問できなかったことがよくありましたが、わからないことをそのままにしておく場合と、質問して理解しながら参加する場合は満足度や充実度が全く違いました。グループディスカッションリーダーとして、情報を収集し、まとめてディスカッションの内容を計画し、グループで協力してプレゼンテーションを発表する経験もしました。語学力の向上に加え、予習や復習の取り込み、わからないことを放置しない、意見を共有することの大切さを学びました。

アラスカの好きなところについてお話ししたいと思います。まず、アラスカの気候です。アラスカはとても寒い地域で冬にはマイナス 40 度にもなります。10 月に雪が降り始め、外にいとまつげや髪の毛が凍ってきます。しかし、私のいた寮と他の施設や教室が近いこともあり、アウターを着ないことやサンダルを履いて外出することもありました。それに慣れてしまい、スカートををはいて足を出したまま 20 分ほど外を歩いてしまったことがあります。最初は大丈夫だったのですが、途中から足が針で刺されたような感覚になり、その後、痛いという感覚が薄くなって足がなくなるかと思いました。それほど寒いアラスカですが、室内はとても暖かいです。半袖半ズボンで過ごす冬はとても快適で、アラスカの暖房設備が恋しいです。

次に、アラスカの空気が大好きです。アラスカの空気はとても澄んでいて大好きです。寮から出るときの朝の新鮮な空気、授業に移動するときの空気、授業後の夕方にゆったりと吸う空気、夜の静かな時間帯に友人と外を歩いた時の空気、どの空気も好きです。寒さや自然の豊かさに関係しているのかもしれませんが、日本では感じたことがないくらい空気がきれいで、おいしく感じました。

そして、アラスカの空もまた魅力的です。私はアラスカの空の写真を 4 カ月間で約 300 枚撮影していました。周りに高い建物があまりなく、見晴らしがよくとても美しいです。朝には日の出、夕方には夕焼け、夜にはたくさんの星とオーロラを見ることが出来ます。実はアラスカに行く前には、オーロラにそこまで魅力を感じていませんでしたが、実際に動いているオーロラを見て感動しました。とても不思議な感覚で、こんなにも美しいものを見られることはとても恵まれていると気づき、感動しました。オーロラを見るだけでなく、日中に「今日はオーロラが出そうだね」「今日はオーロラを見に行こう」という友人との会話やオーロラを見に湖までみんなで歩いて行く道中も好きでした。

これらのアラスカの気候、空気、空だけでなく、乾いていてサラサラとした雪や、雪を歩く音、凍った雪の上を車で滑る感覚、外に出て肌がピリッとする感覚など、大好きなものがたくさんありました。

アラスカを出発するときが一番寂しかったのは、ここで出会えた人たちに会えなくなってしまうことでした。ルームメイトたちとの別れはとてもつらいものでした。私のルームメイトたちは、Dee, Elsa, Lynsie の 3 人ともアラスカ人でした。アラスカの有名な食べ物やユピック語、ネイティブの伝統的なダンス、服装などを教えてくれました。また、日本にも興味を持ってくれ、日本語を教えたり、日本の食事や文化についても話したりしました。顔立ちがアジア系で、味噌汁やお茶漬けがお気に入りだったため、味覚も似ているという発見もありました。ガールズトークをしたり、試合を観戦しに行ったり、英語を教えてくれたり、たくさんの思い出があります。

友達の紹介で仲良くなった人たちとは一緒に学食でご飯を食べたり、集まって遊んだり、友達の国の言語を教えてもらったりしました。ノルウェーやドイツ、フィンランド、カナダ、韓国など、さまざまな国の人に出会い、友達になれました。服装を褒め合ったり、すれ違うときに挨拶だけでなく会話が始まったり、目があったら微笑んでくれたりするなど、日本ではなかなか経験できない文化の違いを感じました。私の下手な英語を聞き取り、分かりやすく話し、気遣ってくれる人たちがたくさんいました。彼らに出会えたからこそ、さらに充実した留学生活を送ることができたと感じています。

私はこの留学生活で何事も自分次第だと学びました。多くの経験をし、友達を作ることも自分の行動力が必要です。今後もこの行動力を活かしていきたいと思います。アラスカという素敵な場所で生活できたこと、たくさんの素敵な人に恵まれたことに感謝しています。語学力向上だけでなく、多くの経験をし、かけがえのないたくさんの素敵な友人に出会えました。忘れられない充実した4カ月間となりました。

